

ケーブルプラス STB 重要確認事項

- ケーブルプラス STB で外部接続ハードディスク（以下、外部接続 HDD）を利用して、録画・録音された内容を消去した場合、機器や放送の不具合等、いかなる場合であっても一切の補償をいたしません。
- 外部接続 HDD をケーブルプラス STB に接続して録画用として登録すると、ケーブルプラス STB の外部接続 HDD としてフォーマット（初期化）しますので、それまで外部接続 HDD に保存していたデータは全て消去されます。
- ご解約の際にはKCNおよびKCNが指定する業者より、ケーブルプラス STB を撤去・回収いたします。
- 故障の際にはケーブルプラス STB を交換する場合がございます。
- ケーブルプラス STB を回収、交換した場合は、外部接続 HDD に記録された内容は消去される場合があります。
- 「デジタルコピー不可」の番組は録画できません。
- 「1 回だけデジタルコピー可能」の番組を外部接続 HDD に録画した場合、DLNA 対応機器へのムーブは可能ですが、ダビングすることはできません。（録画内容を恒久的に保存したい場合は、記録メディア等に保存することをお奨めします）
- 「ダビング 10 可能」な番組を外部接続 HDD に録画した場合、DLNA 対応機器にはダビング 9 回ムーブ 1 回が可能です。（LAN 接続可能な機器についてはお問合せください）
- 外部機器との接続・設定（LAN、外部接続 HDD 等）は、お客様ご自身にてお願いいたします。当社にて設定をご希望される場合は、有料となります。
- LAN 録画を実行する場合は、有線 LAN でのネットワーク接続をご使用ください。無線 LAN または PLC でのネットワーク接続では、LAN 録画が正常に実行されない場合があります。また、無線 LAN または PLC でのネットワーク接続では、ケーブルプラス STB と DLNA 対応機器を直接有線 LAN で接続すると、インターネットに接続できません。ルータあるいは中継器経由で DLNA 対応機器と有線 LAN で接続してください。
- ケーブルプラス STB の分解・改造は絶対に行わないでください。分解・改造が判明した場合は機器損害金をお支払いいただきます。また、お客様の故意によりケーブルプラス STB が故障した場合も、機器損害金をお支払いいただきます
- ケーブルプラス STB をご解約される場合は、機器撤去工事費が発生し、ケーブルプラス STB と付属品をご返却いただきます。ご返却がない場合は、機器損害金をお支払いいただきます。

■無線 LAN について

- ケーブルプラス STB は無線 LAN (Wi-Fi) クライアント内蔵です。
- ご契約内容により、接続方法や設定内容が固定されていることがあります。
- ケーブルプラス STB を無線 LAN ネットワークに接続 (本機の設定:「クライアント」) にする場合、対応した無線 LAN 親機となるアクセスポイント (無線ブロードバンドルータ) が必要です。
- アクセスポイントは、WPS 対応であることを確認してください。(WPS に対応していない場合は、設定の際にアクセスポイントの暗号キーが必要となります)
- 無線 LAN 接続に関しては、電波状況により接続できない場合があります。その場合は有線で接続してください。
- ケーブルプラス STB と他の無線機器との接続状況によっては、通信速度が遅くなる場合があります。
- アクセスポイントの無線方式を切り替えた場合は、無線 LAN で接続できていた機器 (パソコン等) が接続できなくなることがあります。
- 通信内容の傍受、不正利用、なりすまし等を防止するために、適切なセキュリティ設定 (暗号化設定) を行ってください。ケーブルプラス STB には、標準でセキュリティ (ウイルスバスター) が設定されていますので、設定を無効にせず、そのままご利用いただくことをお奨めします。
- 電波障害が発生する場合がありますので、電波を使う機器から離してご利用ください。(例: 電子レンジ等)
- DLNA による再生は、有線での接続をお奨めします。無線で接続する場合は、ケーブルプラス Remote のご利用をお奨めします。
- ネットワークの接続構成を変更すると、重要な最新ファームウェアへの更新ができなくなったり、設定変更が行えなくなったりする可能性があるため、変更は行わないでください。お客様で接続構成等、変更を行った場合は動作保障できません。
- 詳しくは取扱説明書をご覧ください。